

■一般目標 (GIO)

臨床検査の基本的項目，異議及び測定法について学ぶ。また，歯科治療時の合併症と共に全身管理の重要性を理解し，局所麻酔，精神鎮静法，全身麻酔，救急蘇生法などの意義，目的，方法を学修する。

■到達目標 (SBOs)

- ① 臨床検査の目的および意義を説明できる。
- ② バイタルサインを評価し，説明できる。
- ③ 臨床現場における歯科麻酔の必要性を説明できる。
- ④ 患者（小児，妊産婦，高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
- ⑤ 局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ⑥ 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
- ⑦ 血管収縮薬の使用目的と種類，特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。
- ⑧ 局所麻酔の実施法と合併症（偶発症）を説明できる。
- ⑨ 精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ⑩ 精神鎮静法の周術期管理を説明できる。
- ⑪ 全身麻酔の概念，種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。
- ⑫ 全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。
- ⑬ 歯科治療時の全身的偶発症を列举し，説明できる。
- ⑭ 一次救命処置について説明できる。
- ⑮ 精神鎮静法および全身麻酔時の業務について説明できる。
- ⑯ 周術期の口腔健康管理について説明できる。

■教科書：1 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第2版
2 歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔学 第2版

■参考書：1. 歯科診療補助論 第2版

■授業時間：木曜日 11:00 ~11:50

■オフィスアワー：北山 稔恭 木曜日 17:00~18:00 (kitayama.toshiyasu@nihon-u.ac.jp)

栗栖 諒子 木曜日 17:00~18:00

■授業の方法：教科書，参考書の内容をもとに講義する。

■準備学習・講義項目について事前に教科書や参考書を読み，出席すること。

準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験(80%)および出席(20%)を総合して評価する。

■注意事項：講義には教科書等を持参すること。

■実務経験：北山 稔恭：日本大学歯学部歯科麻酔学講座非常勤講師として在籍しており，歯科医師の立場から歯科治療が全身に及ぼす影響について，いままでの臨床経験で培った患者周術期管理経験を基に講義や学習する場を提供が出来ればと考えている。

栗栖 諒子：日本大学歯学部歯科麻酔学講座に在籍している。全身管理の経験を基に、歯科麻酔科医の立場から歯科治療時の全身状態について、本教科の内容がどのように臨床の場で活かされるかについて学修するする場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月9日 北山 稔恭 栗栖 諒子	1) 臨床検査と歯科衛生士の役割 (教1) pp. 1-10 2) 生理機能検査 バイタルサイン① (教1) pp. 11-15	<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査を理解する。 臨床検査の基準値とパニック値を理解する。 バイタルサイン (体温・脈拍) を理解する。
第2回 4月16日 北山 稔恭 栗栖 諒子	2) 生理機能検査 バイタルサイン② (教1) pp. 15-20 心機能検査 (教1) pp. 21-32	<ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン (血圧・呼吸数) を理解する。 刺激伝導系を理解する。 心電図波形を理解する。
第3回 4月23日 北山 稔恭 栗栖 諒子	2) 生理機能検査 肺機能検査 (教1) pp. 32-39 閉塞性睡眠時無呼吸の検査 (教1) pp. 40-42	<ul style="list-style-type: none"> 肺機能検査を理解する。 閉塞性睡眠時無呼吸検査について理解する。
第4回 4月30日 北山 稔恭 栗栖 諒子	3) 血液学的検査 (教1) pp. 43-66	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査の意義を理解する。 血液型について理解する。 出血性素因検査について学ぶ。
第5回 5月7日 北山 稔恭 栗栖 諒子	4) 感染症の検査 (教1) pp. 67-85	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の検査について学ぶ。
第6回 5月21日 北山 稔恭 栗栖 諒子	5) 肝機能の検査 (教1) pp. 87-100 6) 腎機能の検査 (教1) pp. 101-111	<ul style="list-style-type: none"> 肝機能検査の種類・意義を理解する。 腎機能検査の種類・意義を理解する。 尿検査の意義を理解する。
第7回 5月28日 北山 稔恭 栗栖 諒子	7) 糖尿病の検査 (教1) pp. 113-124 8) 代謝・内分泌疾患の検査 (教1) pp. 125-128	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の検査について理解する。 主なホルモン検査を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第8回6月4日 北山 稔恭 栗栖 諒子	9) 免疫・血清学的検査 (教1) pp. 129-148	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー検査を理解する。 自己免疫疾患検査を理解する。 輸血に関する検査を理解する。
第9回6月11日 北山 稔恭 栗栖 諒子	1) 歯科麻酔学と患者管理 (教2) pp. 232-241	<ul style="list-style-type: none"> 歯科治療における歯科麻酔の役割を理解する。 全身状態の評価と患者管理を理解する。
第10回6月18日 北山 稔恭 栗栖 諒子	2) 局所麻酔 (教2) pp. 242-258	<ul style="list-style-type: none"> 局所麻酔について理解する。 血管収縮薬を理解する。 局所麻酔と歯科衛生士の役割を理解する。
第11回6月25日 北山 稔恭 栗栖 諒子	3) 精神鎮静法 (教2) pp. 259-273	<ul style="list-style-type: none"> 精神鎮静法について理解する。
第12回7月2日 北山 稔恭 栗栖 諒子	4) 全身麻酔 (教2) pp. 274-287	<ul style="list-style-type: none"> 全身麻酔について理解する。 術中・術後管理について理解する。 日帰り全身麻酔について理解する。
第13回7月9日 北山 稔恭 栗栖 諒子	5) 緊急時の対応 (教2) pp. 288-299	<ul style="list-style-type: none"> 歯科治療時の全身的偶発症について理解する。 誤飲と誤嚥を理解する。 一次救命処置について理解する。
第14回7月16日 北山 稔恭 栗栖 諒子	6) 周術期における口腔健康管理 (教2) pp. 302-327	<ul style="list-style-type: none"> 周術期について理解する。 全身麻酔下での口腔健康管理の目的を理解する。 がん治療中の口腔健康管理の意義を理解する。